収入が少ないのに徴集？後期高齢者保険料
これでは永久に滞納額はなくならない

10月10日の決算特別委員会で岡野長寿市議は、値上げされた後期高齢者医療保険料の問題、市民病院の冷房設備が不調だった問題を取り上げ、改善を求めました。

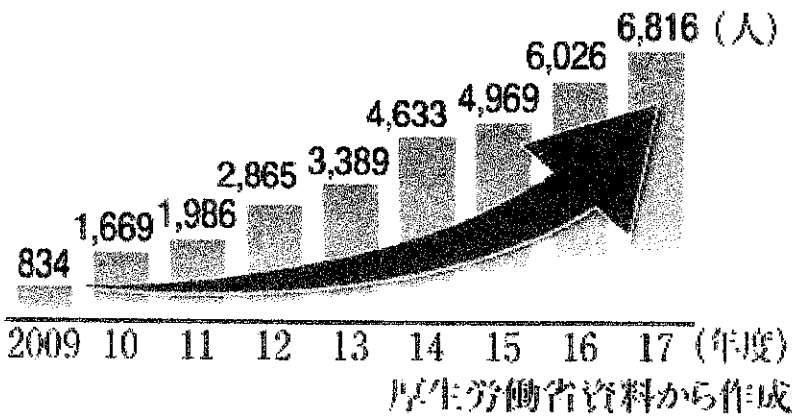
親身な個別相談活動が必要ではないか？

後期高齢者医療保険料は毎年値上げされ、国会でも滞納処分が急増していることが問題になっています（左上グラフ）。

岡野市議は特にこの2，3年、低所得の高齢者の保険料軽減措置が廃止され、前年度の2倍になるケースも出てきたことを問題視し、「年金が年間18万円以下で、保険料を天引きすることもできないような方にまで保険料を課すというのがおかしいのではないか」と指摘しました。

「普通徴収＝年金18万円以下の方の滞納者（左表、下）は158人、平均で5万円以上の滞納になっている」との答弁を引き出し、「このような方には、形式的な処分ではなく、免除などの個別の相談活動を」と求めました。

後期高齢者に対する滞納処分の推移



厚生労働省資料から作成

保険料の収納状況〈特別徴収〉　単位：千円

年度	調停額	収納額	収納未済額	徴収率
H 30	1,095,933	1,095,933	0	100%

保険料の収納状況〈普通徴収〉　単位：千円

年度	調停額	収納額	収納未済額	徴収率
H 30	530,375	522,022	8,353	98.4%

日本共産党
市議会議員団
週刊議会報告
【発　行】
岡野長寿
（0845-22-2596）
三浦とおる
（0848-48-5044）

「因島から市民病院行きの直通便を出してはどうか」
―岡野市議が提案―

夏の病院、冷房設備が故障すると大変

岡野長寿市議は、決算年度に市民病院の空調関連工事が行われたか質問し、①本館1階中央待合室空調更新工事（132万円）②本館3階GHPエンジン交換修理（145万円）③本館屋上冷却塔送風機取替工事221万円の3件の工事が行われたことを明らかにし、今年、集中治療室などの冷房が度々故障して患者から苦情が来たのではないか、個別の工事で対応できる状況なのか、全面的な改修工事が必要な段階なのか病院管理者の認識を質しました。

はっきりした答弁はありませんでしたが、利用者の立場から、この夏のようなことがないよう求めました。また同市議は、外来患者の減少について、交通の便が悪いことを指摘し、尾道バスなどと連携して、因島から市民病院への直通バス路線の創設を検討してはどうかと提案しました。

因島から（バス路線のない）老健施設を通り、しまなみ海道本線を通る便をつくれば、渋滞を避け、時間短縮と介護施設利用者の要望にも応えられます。

みうら君の生活一口メモ
子どもの自殺過去最高。どうすればいいの？

皆さんお元気ですか　いきなり秋が来たような天候で寒いくらいですね。健康には気を付けてください。今週は、悩めるお母さんからの質問です。「子どもの自殺が過去最高になったと報道で聞きました。子どもを持つ親として大変心配です」とても心配な話ですね。みんなで考えていきましょう。

本日のお題
新聞報道で、子どもの自殺が過去最高になってきていると知りました。特に夏休み明けの自殺の数が多いと聞いています。
何故、子どもたちは自殺をするのでしょうか？子どもを持つ親として大変心配です。どうすれば自殺を防ぐことができますか？

昨年度1年間に自殺した小中学生と高校生は332人で、昭和63年度以降、最も多かったことが文科省の調査で明らかになりました。

文科省は、全国の小・中学校や高校から報告を受けた子どもたちの自殺の件数を毎年度、公表しています。その結果、昨年度※自殺した児童生徒の数は男子が193人、女子が139人の合わせて332人で、前の年度から82人、1・3倍の増加となっています。内訳は、小学生が5人、中学生が100人、高校生が227人です。全世代の自殺者数は、去年2万人余りで、ピーク時の6割ほどにまで減っていますが、子どもたちの自殺は昭和63年度に、今の方法で統計を取り始めて以降最も多くなりました。

大変なことですね。今週はこのことをみんなで考えて行きましょう。（来週に続く）